

## 平成 21 年度第 5 回理事会次第

日 時 平成 21 年 10 月 24 日 (土) 10 : 00

会 場 千葉県社会福祉センター4 階会議室

1. 出席者及び資料の確認

2. 開会

3. 会長挨拶

4. 議 題

(1) 報告事項に対する質疑

(2) 議事(案)

1. 役員選挙細則について

2. 福祉職能団体の連携に向けた取り組みについて

(3) その他

5. 閉会

### 三団体合同研修打ち合わせ 報告

10 月 19 日(月) 19:00～ 社会福祉センター4 階会議室

出席者(敬称略、50 音順)

医療社会事業協会:高橋、吉成

精神保健福祉士協会:安藤、松田

社会福祉士会:桜井、鈴木、高橋

◎8月22日三団体協議会議事録から

・テーマについて(提案した背景、エピソード)

- ①「亡くなった後の相続や資産管理、亡くなる前に必要な準備」(成年後見に関連して)
- ②「病識のない人を受診につなげるノウハウ」(無理に介入し訴訟で負ける判例が相次ぐ)
- ③「サービス利用拒否の人へのかかわり」(本人の意思尊重のもとに放置する現状)

三団体協議会で出されたテーマの中から①のテーマを発展させ、相談者が自分と向き合うためのツールとして、市川市社会福祉協議会製作の『心の遺言ノート』を取り上げることを提案し、承認された。

また、それぞれの職場のアセスメントツールの使用法について報告を行った。そこで、相談内容から相談者の課題を分析するだけではなく、生活歴等を相談者自身が記入する様式を使うことで、相談者自らの振り返りの機会とすると同時に、その向き合い方から相談者の姿勢やポテンシャルを測る役割を担っているケースも報告された。

対面式の間答ではなく、アセスメントツールを使用することで①本人の「自己決定」を促す②ワーカーが相談者の「勢い」に巻き込まれるのを防ぐ③対立構図ではなく、視線の方向を同じくして共通の課題を探ることが出来る④目標や課題を文章化することで共通見解を持てる、といった効果が得られるという報告もあった。

上記から、今回の研修の概要については

テーマ:『「地域で生きる」を支援する ～本人の自己決定を大切にするために～』

講演:「心の遺言ノート」のすすめ(仮)

講師:市川市社会福祉協議会 山崎 泰介氏(千葉県社会福祉士会会長)

グループワーク:アセスメントツールの活用術

としたい。グループワークについては、事前に参加者からアセスメントツールを、可能であれば提出してもらい、それぞれの活用方法について議論する。また、相談者についてもワーカー自身についても存在を認め、長所を見出す姿勢を養うために否定的なコメントをしない、というルールを決めるのも効果的ではないか、との意見も出された。

日時については、平成22年2月21日(日)を予定していたが、2月中の土、日で再調整することとなった。参加費は例年通り500円を予定。会場については、中央コミュニティセンターと千葉市文化センターで調整中である。

次回の三団体合同研修ワーキンググループの会議は、11月19日(木)19:30～社会福祉センター4階会議室で行うこととした。

## 広報部会 報告事項

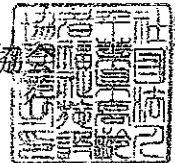
今回は部会を開催していません。

千葉県高齢者福祉施設協会から11月23日開催の『介護の魅力を語る千葉県フォーラム』のプログラムに掲載する、千葉県社会福祉士会のPR原稿を依頼され、別添資料のPR原稿を作成しました。原稿依頼文書と合わせ、ご確認方よろしくお願いたします。

千高協第35号の7  
平成21年9月17日

千葉県社会福祉士会  
会長 山崎 泰介 様

社団法人千葉県高齢者福祉施設協  
会 長 田 邊 信



介護の魅力を語る千葉県フォーラム開催に係る来場者配布用プログラム  
原稿作成依頼について (依頼)

時下、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

本会の運営につきましては、日頃から格別の御高配を賜り感謝申し上げます。

さて、県内の福祉人材確保を推進するため、関係12団体が連携し「千葉県福祉人材確保推進会議」を設置しているところですが、当該会議の本年度事業として、別添開催要綱により標記フォーラムを開催することが既に決定されております。

また、開催当日に来場者配布用プログラムを作成することとしており、別紙作成要領に基づき、各団体にPR紙面を割り当てることとしております。

つきましては、御多忙のところ恐縮に存じますが、下記のとおり当該プログラム原稿の作成、提出につき御協力をお願い申し上げます。

#### 記

- 1 依頼内容  
本年11月23日に開催予定の「介護の魅力を語る千葉県フォーラム」  
当日配布用プログラム紙面の作成、提出。
- 2 紙面の内容  
各団体におけるPRしたい内容、団体、事業紹介等。
- 3 紙面の大きさ  
A4大 1枚分。(内容、レイアウト、様式は任意です。)
- 4 提出方法  
データにて提出願います。(CD、DVD、フラッシュメモリ等の記録媒体により  
提出のこと)
- 5 提出期限  
平成21年10月23日(金)まで。
- 6 提出先  
千葉県高齢者福祉施設協会事務局  
〒260-0026 千葉市中央区千葉港4番3号 (千葉県社会福祉センター)  
TEL 043-244-6021 FAX 043-244-6022

以 上

# 介護の魅力を語る千葉県フォーラム ～福祉の明日を支える！～

## 1 趣 旨

介護とは、本来人に最も身近で、重要な日常生活の営みです。

高齢化社会が進展する現在も未来も、我々の社会では誰もが避けて通れず、またその根底にあるものは、「人が人をいたわり慈しむ心」なのです。

介護とは、施設や、家の中などの限られた空間で起こりうる現象ではなく、地域や、社会全体で支え合う事を旨として取り組むべき事柄でもあります。

これからの日本の社会を支える源はまさに、介護を通じて成長する人の姿であり、お年寄りや、体の不自由な人と共生し支え合うことの素晴らしさにあるものと思われます。

本フォーラムは、介護の素晴らしさをさらに伝えあい、多くの人が介護に関心を持ち、参加していただくことを願って開催します。

## 2 主 催

社団法人千葉県高齢者福祉施設協会

(独立行政法人福祉医療機構「長寿・子育て・障害者基金」助成事業)

## 3 協 力

千葉県社会福祉協議会／千葉県デイサービスセンター協会／千葉県地域包括・在宅介護支援センター協会／千葉市老人福祉施設協議会／千葉県老人保健施設協議会／千葉県介護福祉士養成校連絡協議会／千葉県社会福祉士会／千葉県介護福祉士会／千葉県介護支援専門員協議会／千葉県ホームヘルパー協議会／認知症の人と家族の会千葉県支部

## 4 後 援(予定)

千葉県／千葉市／千葉県教育委員会／千葉市教育委員会／千葉市社会福祉協議会／千葉県看護協会／財団法人介護労働安定センター千葉支部

## 5 日 時

平成21年11月23日(月)勤労感謝の日

13:30～16:30 (受付12:30～)

## 6 会 場

千葉県教育会館 新館大ホール

千葉市中央区中央4-13-10

## 7 参加対象 (定員 500名)

(1)学生・生徒及び保護者

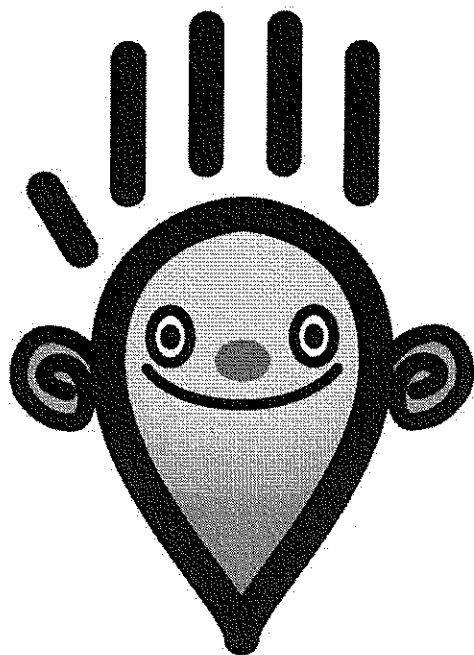
## 介護の魅力を語る千葉県フォーラム ～福祉の明日を支える！～

- ◆期 日 平成21年11月23日(月)(勤労感謝の日)  
 ◆場 所 千葉県教育会館 新館大ホール  
 ◆主 催 社団法人千葉県高齢者福祉施設協会  
 ◆協 力 千葉県社会福祉協議会／千葉県デイサービスセンター協会／千葉県地域包括・在宅介護支援センター協会／千葉市老人福祉施設協議会／千葉県老人保健施設協議会／千葉県介護福祉士養成校連絡協議会／千葉県社会福祉士会／千葉県介護福祉士会／千葉県介護支援専門員協議会／千葉県ホームヘルパー協議会／認知症の人と家族の会千葉県支部  
 ◆後 援 千葉県／千葉市／千葉県教育委員会／千葉市教育委員会／千葉市社会福祉協議会／千葉県看護協会／財団法人介護労働安定センター千葉支部(以上、予定)

### 日 程 表

時間	内 容
12:30～	◇会場・受付
13:30～ 13:50	◇開 会 ・開会あいさつ 千葉県社会福祉協議会 会長 早川 恒雄 ・来賓あいさつ 千葉県知事 森田 健作氏
13:50～ 15:20	◇基調講演 「地域に包まれた介護」 弁護士・さわやか福祉財団 理事長 堀田 力氏
15:20～ 15:30	◇休憩
15:30～ 16:30	◇千葉テレビ放送「福祉の現場から」DVD放映及び出演者介護事例発表 ①4月28日放送分「介護老人保健施設北柏ナーシングケアセンター」 介護職員 太田尾 美和氏 ②3月17日放送分「やすらぎ園第二デイサービスセンター」 介護支援専門員 早川 伸子氏 ③3月24日放送分「(株)愛ネット」(訪問介護事業所) 主任サービス提供責任者 介護福祉士 晴山 伸一氏  ◇閉会あいさつ 千葉県高齢者福祉施設協会 会長 田邊 信行

こんにちは！千葉県社会福祉士会です！



つなぐ・ささえる・まもる  
五感で感じる!!  
社会福祉士

千葉県社会福祉士会は、社会福祉の援助を必要とする千葉県民の生活と権利を護り、社会福祉についての知識及び技能を県民に普及・啓発します。また、社会福祉事業に携わる専門職員に対する倫理の確保、技術の研鑽を行うことにより、地域福祉サービスの推進と発展を図り、千葉県民の社会福祉の向上に貢献することを目的としています。

具体的な活動内容としては、会員同士の交流、各種研修によるスキルアップ、啓発活動、福祉に関する相談、会報誌の発行などを行っています。また、社会福祉事業に携わる専門職員の環境改善に向けたソーシャルアクションを起こしていきます。

## 社団法人 千葉県社会福祉士会

〒260-0026 千葉市中央区千葉港4番3号 千葉県社会福祉センター4階

電話：043-238-2866 FAX：043-238-2867

ホームページURL <http://www.cswchiba.com>

Eメールアドレス [office@cswchiba.com](mailto:office@cswchiba.com)

## 地域包括支援センター部会報告事項

### 報告事項

#### ①独立行政法人 福祉医療機構 助成事業について

部会のメンバーと確認したところ、来年度の高齢者虐待対応専門職チームの事業実施に向けて検討する課題が多くあり、研究に取り組める状態ではないため平成 22 年度の申請は行わないこととした。

#### ②虐待対応専門職チームに関して

10/22 今年の夏に 8 箇所の市町村で実施された市町村及び地域包括支援センターのヒヤリングの結果報告と今後の検討の進め方について協議した。

社会福祉士会出席者 13 名、千葉県弁護士会出席者 7 名

今後の活動フローと役割分担について各会から次回の検討会までに意見を提出することとなった。

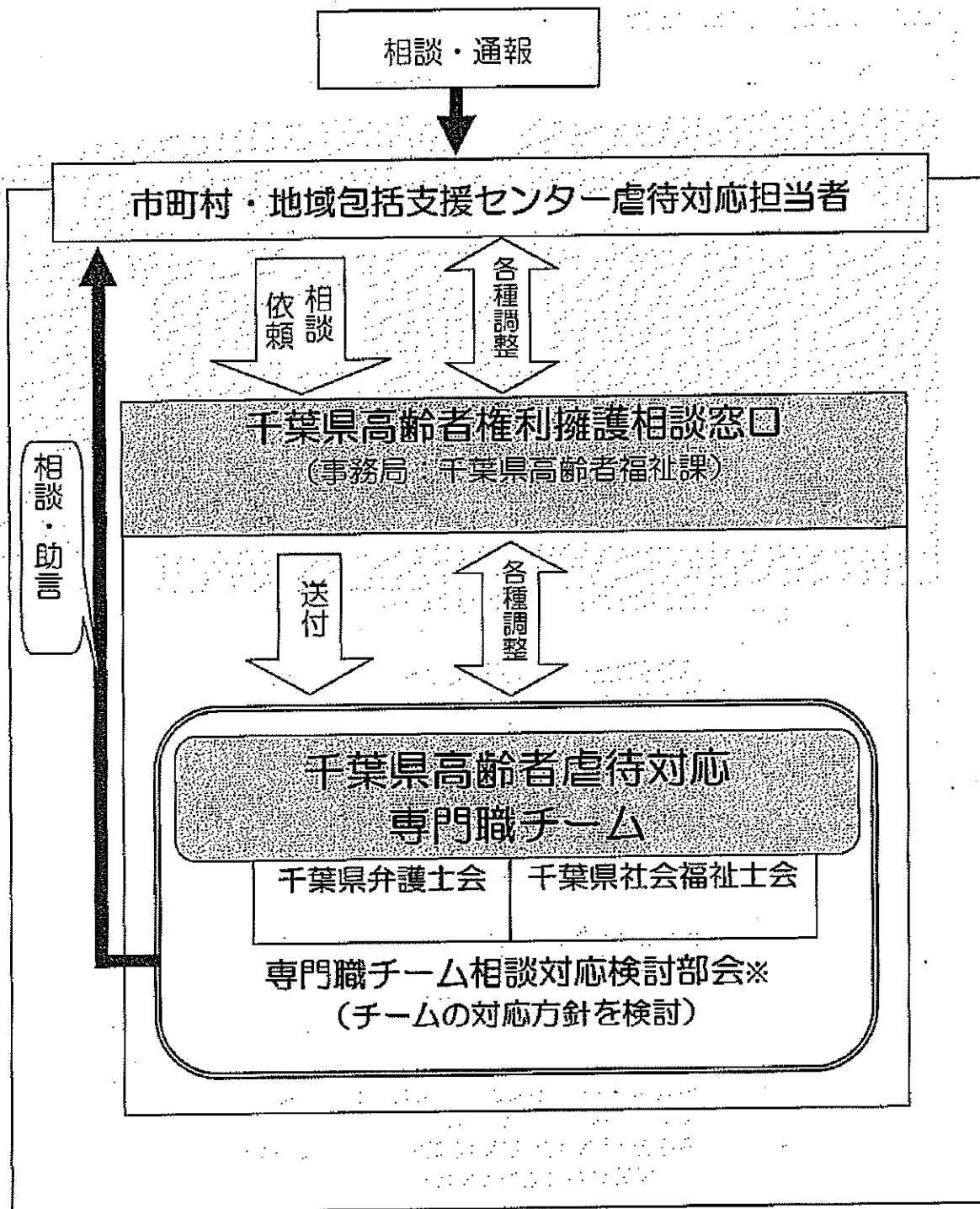
添付資料 (10/22 配布資料)

- ① 千葉県高齢者虐待対応専門職チーム活用の流れ (案)
- ② 平成 21 年度今後の取組計画 (案)
- ③ 障害者虐待防止・介護者支援センターの設置について (案)



# 包括部会添付資料①

## 千葉県高齢者虐待対応専門職チーム活用の流れ（案）



※専門職チーム相談対応検討部会の開催に係る庶務は、高齢者福祉課が行う。

## 包括部会添付資料②

資料5

【平成21年度：今後の取組計画（案）】

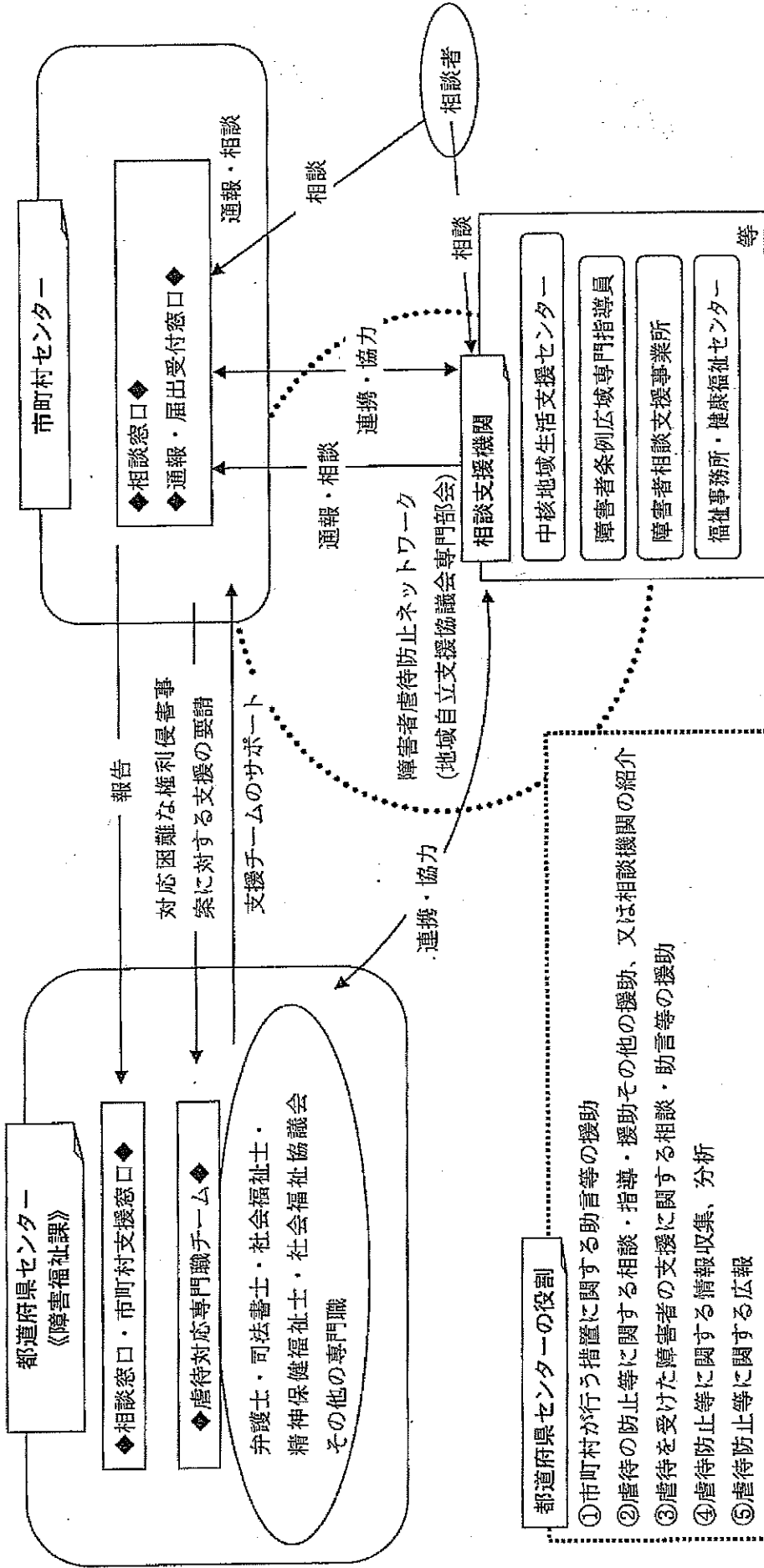
年 月	取組計画（案）
平成21年4月	(第1回検討会) すでにチーム活動を行っている都道府県の弁護士及び社会福祉士に活動状況と活動を行ってきて見えてきた課題等の講義。
5月	(第2回検討会) チーム活用案についての検討
6月	(第3回検討会) 市町村への訪問ヒアリングについての検討
7月	(第4回検討会) 市町村への訪問ヒアリングについてヒアリングの目的、内容等の共通認識を図る。
8月	市町村等へ訪問ヒアリング
9月	市町村等へ訪問ヒアリング
10月	(第5回検討会) 聴き取り調査報告
11月	<p>相談支援体制（相談窓口）設置に向けた検討</p> <p>●活動フローと役割分担</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の流れ（ステージに応じた相談活動の流れ）</li> <li>・相談窓口における事業整理（緊急性判断等）と両会への支援依頼方法（ツールと様式）</li> <li>・専門職チーム相談対応検討部会の体制</li> <li>・相談対応後の報告方法</li> <li>・対象事案と対象業務の範囲</li> </ul>
12月	<p>相談支援体制（相談窓口）設置に向けた検討</p> <p>●活動フローと役割分担</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門職チーム相談対応検討部会について（進行・助言方針・方法の検討・検討結果のとりまとめ）</li> </ul>
平成22年1月	<p>相談支援体制（相談窓口）設置に向けた検討</p> <p>●市町村等への周知について</p> <p>●活動の均質性と連続性維持のシステムの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報共有と活用の手法とツール</li> </ul>
2月	<p>『千葉県高齢者権利擁護相談窓口』の設置</p> <p>●次年度の取組み内容の決定</p> <p>★場合によっては相談活動</p>
3月	<p>●総括と次年度の取組み内容の決定</p> <p>★場合によっては相談活動</p>

市町村訪問ヒアリング結果報告書作成作業

# 包括部会添付資料③

## 障害者虐待防止・介護者支援センターの設置について(案)

資料6



### 都道府県センターの役割

- ①市町村が行う措置に関する助言等の援助
- ②虐待の防止等に関する相談・指導・援助その他の援助、又は相談機関の紹介
- ③虐待を受けた障害者の支援に関する相談・助言等の援助
- ④虐待防止等に関する情報収集、分析
- ⑤虐待防止等に関する広報

### 市町村センターの役割

- ①虐待の防止等に関する相談・指導・援助その他の援助、又は相談機関の紹介
- ②障害者虐待に係る通報又は届出の受理
- ③介護者による障害者虐待に係る通報又は届出を受けた場合、事実の確認のための措置
- ④介護者による障害者虐待を受けた障害者の一時的な保護
- ⑤財産上の不当取引による障害者の被害についての相談、又は関係機関の紹介
- ⑥虐待を受けた障害者の支援に関する相談・助言等の援助
- ⑦虐待防止等に関する情報収集、分析
- ⑧虐待防止等に関する広報

### 第3回 研修啓発部会 会議録

日時 平成21年10月11日(日)

千葉県社会福祉センター 4階 会議室

AM10:00~12:00

出席者・・、染野理事、浅見部会長《記録》、

神田氏、井上氏(新会員)、小川氏(新会員)氏、 多田氏、南氏(講師)

以上 7名

#### 1) ウェブ模試試験について(

○ジェイシー教育研究所より、ウェブ模試試験監修を依頼された。

試験日・・12月19日予定

ジェイシー教育研究所のホームページ上に当会が監修した模擬試験をウェブ上でアップする。

基礎問題集は10月末にジェイシー教育研究所が送られてくる。

第一チェック(再度 問題作成) 11月25日締め切り

第二チェック(最終監修 原稿点検) 12月7日締め切り

担当者へは後日依頼書を送ります。

#### 2) 直前対策模擬試験講座

平成22年1月10日(日)(共通科目)、11日(日)(専門科目)は  
予定通り実施する方向でほぼ決定

但し、問題集については今回ウェブ模試試験をそのまま採用・・

案内チラシにはそのことをしっかり明記し、解答、解説に講座を開催することを周知、徹底する。

料金は1日のみは3000円、2日間は6000円とする。

場所は確保できれば4階会議室

定員は前回よりも少なめ60名とする。

#### 3) 実習指導者研修、共通基盤研修

○実習指導者研修は11月1日より申込開始

開催日・・2月16日、17日の平日実施予定

○当日スタッフ協力を要請する。

来年度より上記の研修本格始動

#### 4) その他研修について

実習指導後のフォローアップ研修の開催の必要性

現在本部で実施しているが、今後各支部へ下ろしていく予定

次回 部会開催日・・12月上旬予定

## ぱあとなあ千葉第 5 回運営委員会

実施日時：21 年 10 月 20 日 (火) 18 時 00 分～21 時 00 分

実施場所：社会福祉センター 4 階会議室

出席者：岸・鈴木・田中・吉田・篠田・井上・市川・石山・矢島 (9 名)・目黒

欠席者：滑川・朽名 (2 名)

議 題

各担当より

### 1. 研修関係

#### ①活用講座反省

実施日：平成 21 年 10 月 7 日 (水)～8 日 (木)

会 場：千葉県社会福祉センター 4 F 研修室

受講者：32 名 (内訳 会員～15 名 非会員～17 名)

(2 日目は台風で午後から受講した人もいたが全員に対して修了証を渡した。)

- ・一応受講者の感想文では好評だった。
- ・主催する側もいろいろの職種があつて後見制度を活用する受講生だったので良かった。
- ・行政の職員が参加していたが、仕事をする上で役にたつという感想であった。
- ・会員よりも非会員が多く参加してくれたのは良いことだ。

今後の課題

- ・2 日間必要か？
- ・非会員を集めることが必要。しかし、研修が行き渡っていて受講生が減っている。
- ・本部から送付されてくるテキストの内容がふるい。
- ・本部では今後活用講座用の事例集を作ることは考えていない。(当初は後見制度の事例が少なかったので作成した)
- ・講座の時間は、時間が余ったり足りなかったりした。今後、事例検討の時間をどうするか考えていく必要がある。
- ・受講費用についても検討する余地あり。

#### ②登録員研修について (別紙参照)

実施日：平成 21 年 11 月 14 日 (会場の都合で 15 日から変更する。)

会 場：千葉県社会福祉センター 4 階会議室

時 間：午後 1 時受付 13 時 30 分開始 17 時 00 分終了

内 容：後見活動におけるリスクマネジメントについて事例を通して考える。本部で行った「受任者を支援するスーパーバイザー養成研修」の事例・ワークシートを使用して行う。\*本部の了解済み

資料代：1000 円

担 当：田中・市川・石山・吉田・岸・篠田 (\*事前打ち合わせを行う予定)

### 2. 広報関係

- ・「ぱあとなあ千葉ニュース第 20 号」発行～本日会員には郵送している。
- ・次回は 1 月発行を考えている。地域で成年後見にからんで勉強会を開いている方の取材をしたい。候補として柏方面で活動している櫻井さんなど。

### 3. 虐待対応

10月22日(木)に研修会が予定されている。

### 4. コーディネート

・現在市川家裁から2件きている。

1件は負債を抱えた後見～内容から経験者に受任して欲しい。

1件は自閉症の在宅者(単身)

・任意後見電話相談から2件上がっている。～浦安市・松戸市

・法人後見は知的障害者など年齢の若い方を対象とすることも視野にいれていくのはどうか？

・経験者でなくとも、先般の養成研修を受け登録した人の中にも出来る人、やりたい人はいるのではないかと。しかし、支部委託研修のみでは不十分。さらに研修をつんでほしい。

・推薦するとはその人の品質保証をするものではない。家裁が、その人の人となりを見て決めればよいこと。現に東京都ではそうになっている。しかし千葉県では1名の推薦である。

### 5. 法人後見

・現在、法人後見の辞任申し立てと個人後見の選任申し立てを事務担当者が行っている。

法人への報酬付与申し立ては辞任の申し立てと一緒に行う。

・今後、法人後見は若い知的障害者を継続して試みていくためのものにした方が良いのでは。

### 6. 電話相談

・話相談員の研修について

・1月～2月に電話相談の研修を企画したい。

・電話相談員は、ただ社会福祉士というだけでなくケアマネであったり施設の相談員であったり、ケースワーカーであったりそれなりの相談援助者としての下地が必要。それが無い場合やや疑問に思う対応となっている。その「基礎的な部分の研修」を行い相談員の質を高める必要がある。

・電話相談員の研修については、研修担当と朽名さんとで次回にたたき台を出す。

### 7. その他

・会計報告

上半期の執行状況について～本日上半期の謝金・交通費等について精算済み。

活動報告書読み込みについては、1件500円本部からキックバックされるが執行は1件450円で行う。

・平成22年1月31日(日)に行われる「成年後見制度個別相談会」の相談員について昨年度は、主催する県社会福祉協議会からは「ベテランを派遣して欲しい」という希望があったがやってみたくらいという経験浅い人もメンバーに入れ名簿提出した。しかし、対応にやや問題があり、相談者の相談に十分に答えられなかった反省から、今年度は経験を積んだ者を推薦する。

朽名さん担当で運営委員会からの参加は、井上・鈴木・田中・岸・石山

あとの5名については、登録員の中から希望をとる。

次回の委員会は

12月8日(火) 17:00～19:00

【事務局報告】

○ 講師派遣

- ・ 千葉市中央いきいきぷらざ 成年後見制度講演会 10月30日 市川 恵子
- ・ ワークホームもなみ園 成年後見制度についての講演会 10月31日 岸理事
- ・ 市川市高齢者虐待防止プログラム研修会 11月19日 須田 仁
- ・ 千葉県コミュニティソーシャルワーカー育成研修 11月3日 岡 俊子
- ・ 福祉用具専門相談員指定講習会 11月21日 大澤 直樹

○ 委員推薦

- ・ 習志野市社会福祉協議会評議委員 薄井 哲子

○ 寄稿依頼

- ・ 千葉県医療社会事業協会 50周年記念誌 山崎会長
- ・ 県社協 介護の魅力を語る千葉県フォーラム配布用プログラム 鈴木理事

○ 後援依頼

- ・ 第59回千葉県社会福祉大会 11月18日

○ 県社協関係

- ・ 第3回千葉県福祉人材確保推進会議 10月30日 林副会長
- ・ 「福祉の現場から」DVD10部 寄贈
- ・ 平成21年度介護の魅力を語る千葉県フォーラム実行委員会第7回 11月9日 林副会長

○ その他

- ・ 平成21年度習志野市「福祉ふれあい祭り」(津田沼公園) 10月24日 久保田理事
- ・ 平成21年度公益法人の事務担当者講習会 10月28日 事務局峰島

\*\*\*\* 会員情報 \*\*\*\*

10月15日現在 正会員:1,112名

➤ 10月本部会員情報より